





## 【特徴】

簡単セットアップ 古いPCにCNAS-PCI001を挿して、HDDケーブルを取り付け、LANケーブルを接続すれば準備完了！後はネットワークの設定を行えばNASとして機能します。

ユーザーセキュリティ 機能登録したユーザーグループ毎にファイルアクセス制限が可能です。100 ユーザ、20グループまで登録可能です。

スケジュールバックアップ機能搭載 HDDを2台接続することで、指定した時間にバックアップ用ディスクへのデータ退避を行うことでデータの安全性を確保します。

バックアップディスクのマウント機能 スケジュールバックアップ機能で使用しているバックアップディスクをリードオンリーの状態で、指定した特定ユーザからのみ、ネットワーク経由で参照できるようにする機能です。誤操作などで失ったファイルをバックアップディスクから取り出したい場合などにご利用いただけます。

この機能を利用すると、バックアップされた、個人・グループのファイルも、参照可能になります。そのため、特定ユーザのみが参照できるようにしております。

この機能はMacintoshクライアントからは利用できません。

低スペックマシンでも十分なパフォーマンス

Webブラウザ設定ツールでOSを選ばずに運用可能。

Windows / Macintoshでデータ共有可能

PCベースNASならではのプリントサーバ（プリンター共有）機能搭載

Windowsクライアントからのみ印刷可能です。お使いのマザーボードによっては、プリントサーバ機能が使用できない場合があります。

DHCPサーバ機能搭載

100Base-TXの高速転送とスイッチングハブ搭載。

UltraATA 100対応

## 【制限事項】

拡張BIOSからの起動をサポートしてないPCでは動作しません。

Highpoint Technologies製のATAインターフェイスチップが搭載されているPCでは動作しません。

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。

1ファイルの最大サイズは2GB（2,147,483,647）です。それ以上の大きさのファイルをNASに保存しようとした場合の動作については保証できません。

Macintoshクライアントからご利用になる場合、一部機能に制限があります。

機種依存文字をファイル名に使用した場合、正常に表示されない場合があります。

フォルダ名、ファイル名は英語、日本語（JIS第1/2水準）のみ使用可能です。他言語に関しては動作対象外となります。

## 【製品仕様】

名称 : NASKIT  
型番 : CNAS-PCI 001

### 仕様

・PC側インターフェイス部  
PCIバスコネクタ（5V仕様）

・LAN側インターフェイス部

サポート規格 : IEEE802.3u準拠（100BASE-TX）、IEEE802.3準拠（10BASE-T）

伝送速度 : 100Mbps（100BASE-TX）、10Mbps（10BASE-T）

コネクタ形状 : RJ-45 x4（スイッチングハブ機能搭載）

・HDDインターフェイス部

インターフェイス : UltraATA100

データバス幅 : 32bit

### 付属品

- ・C-NASPCI001本体
- ・IDE100対応ケーブル
- ・説明書 / 保証書（本書）

## 【対応機種・対応OS】

PCIバススロットを搭載したPC / AT互換機

CPU: Pentium166以上メインメモリ32MB以上（64MB以上推奨）

ハードディスク：500MB以上120GBまで

クライアントPC

Windows98 / Windows98SE / WindowsMe / Windows2000 / WindowsXP

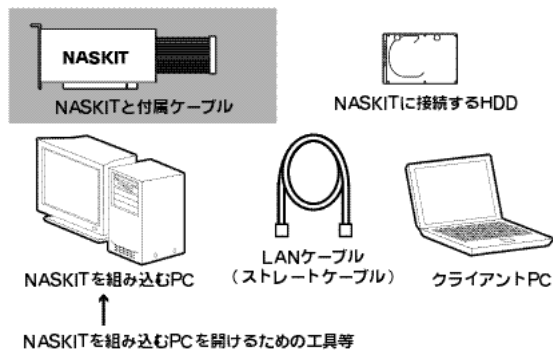
Macintosh（OS8.1以降 + Open Transport1.3以降）

LANボードが搭載され、正常に動作している環境。

## 【Windows セットアップガイド】

### 準備するもの

- NASKITを組み込むPC
- NASKITに接続するHDD
- クライアントPC
- LANケーブル（ストレート）
- NASKITを組み込むPCを開けるための工具等

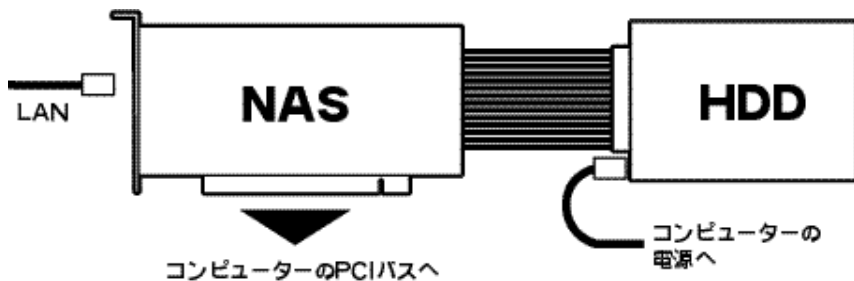


### セットアップまでの流れ

- STEP1 : NASKITカードをコンピュータに接続する
- STEP2 : クライアントPCの設定を確認する
- STEP3 : NAS-PCとクライアントPCを接続し、データの初期化と使用準備を行う
- STEP4 : ネットワークドライブをマウントする

## Step1 : NASKIT カードをコンピュータに接続する

PCのPCIバスにNASKITカードを取り付け、NASKITカードとNASKITに使用するHDDを添付のIDEフラットケーブルで接続します。HDDにPCからの電源コネクタを接続します。



PCIバスへの取り付けに関してはPCの取扱い説明書をご参照ください。  
NASKITカードを取り付けたPCをNAS-PCと呼称します。  
マザーボード側のIDEコネクタには何も接続しないようにお願いします。  
マザーボード側のIDEコネクタは使用しません。

## Step2 : クライアントPC の設定を確認する

NAS-PCを利用するためには使うための設定を正しく行う必要があります。

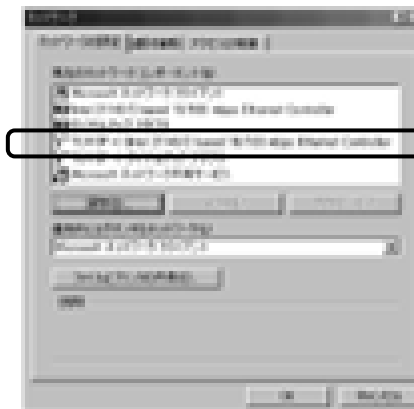
一番最初の起動時には、NAS-PCとクライアントPCを1対1で接続し、設定を行います。  
設定のためにクライアントPCの設定を確認します。

【注意】クライアント設定の確認時には、ネットワークケーブルを外した状態で行って下さい。

### Windows98 / Windows98SE / WindowsMeの場合

- 1: 【スタート】 【設定】 【コントロールパネル (C)】の順に開き、コントロールパネルの【ネットワーク】を開きます。

【TCP / IP-> " LANカードのドライバ名 "】という項目がありますのでこれをクリックして選択し、【プロパティ】を開きます。

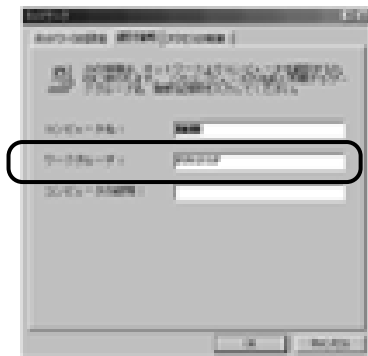


- 2: 「TCP / IPのプロパティ」が開きます。

ここで「IPアドレスを自動的に取得 (O)」が選択されているかを確認ください。「次のIPアドレスを使う」にチェックが入り、「IPアドレス」や「サブネットマスク」に数字が設定されている場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。



- 3: 続いてワークグループ設定を確認します。  
コントロールパネルの【ネットワーク】を開き、  
【識別情報】タブをクリックします。



ここでワークグループが【WORKGROUP】に設定されているかを確認ください。

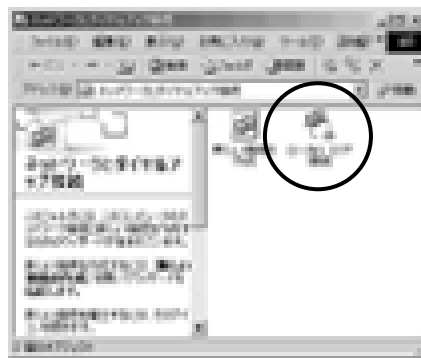
大文字、小文字どちらでもかまいません。

ここに違う名前が入っている場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。  
NASKIT側のワークグループ名をお使いの環境にあわせることも可能です。

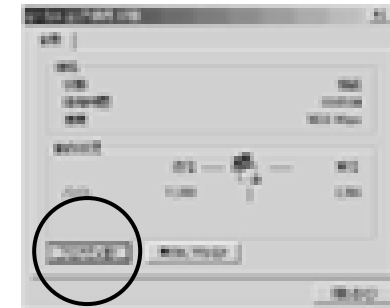
## Windows 2000の場合

【スタート】 【設定】 【コントロールパネル(C)】の順に開き、コントロールパネルの【ネットワークとダイヤルアップ接続】を開きます。

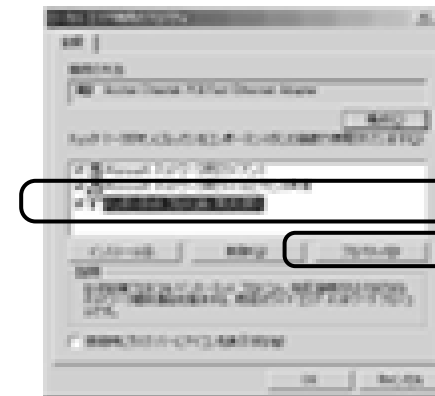
- 1: 【ローカルエリア接続】を開きます。



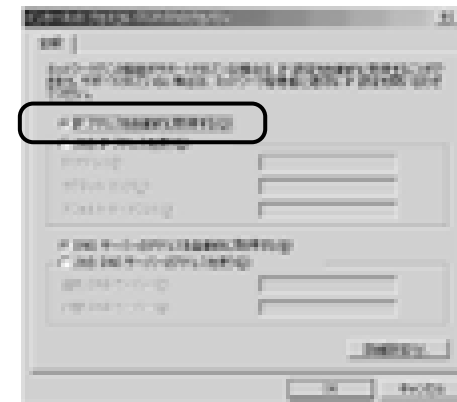
- 2: 【プロパティ】をクリックすると【ローカルエリア接続のプロパティ】が表示されます。



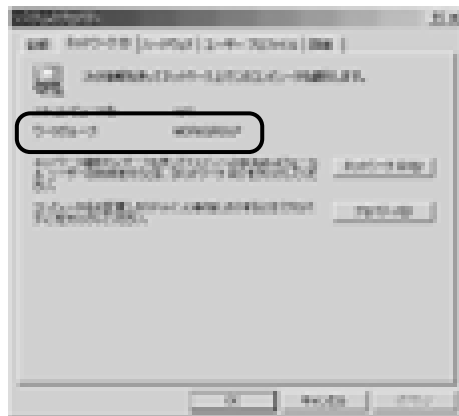
- 3: 【インターネット プロトコル (TCP / IP)】をクリックして選択し、【プロパティ】をクリックします。



- 4: 【インターネット プロトコル (TCP / IP) のプロパティ】が表示されます。  
ここで「IP アドレスを自動的に取得する (O)」が選択されているかをご確認下さい。「次の IP アドレスを使う」にチェックが入り、「IP アドレス」や「サブネットマスク」に数字が設定されている場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。



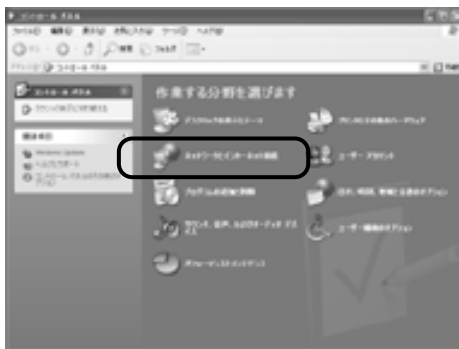
- 5: 続いてワークグループの設定を確認します。  
コントロールパネルの【システム】を開き、  
【ネットワークID】タブをクリックします。



ここで、【ワークグループ】が  
『WORKGROUP』に設定されているかを確認  
ください。  
大文字、小文字どちらでもかまいません。  
ここに違う名前が入っている場合は、ネットワ  
ーク管理者にご相談ください。

## Windows XPの場合

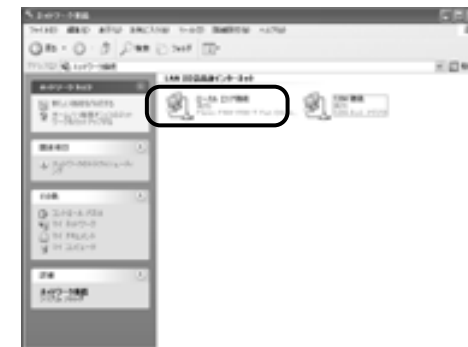
- 1: 【スタート】 【コントロールパネル】の順に  
開き、【ネットワークとインターネット接続】  
を開きます。



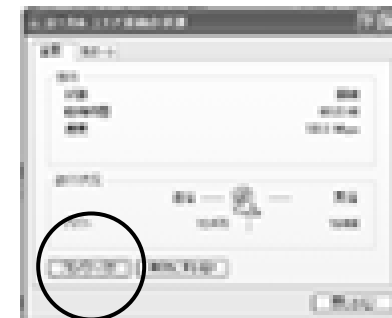
- 2: 【ネットワーク接続】を開きます。



- 3: 【ローカルエリア接続】を開きます。



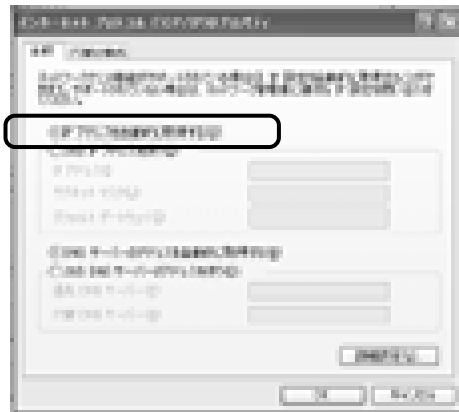
- 4: 【プロパティ】を開きます。



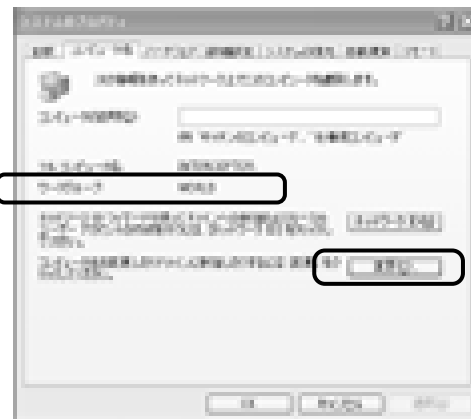
- 5: 【インターネットプロトコル (TCP / IP)】をク  
リックして選択し、【プロパティ】を開きます。



- 6: 【全般】タブのIPアドレス設定で「IPアドレスを自動的に取得する」に設定されているかを確認下さい。ここで、「次のIPアドレスを使う」にチェックが入り、「IPアドレス」や「サブネットワークマスク」に数字が設定されている場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

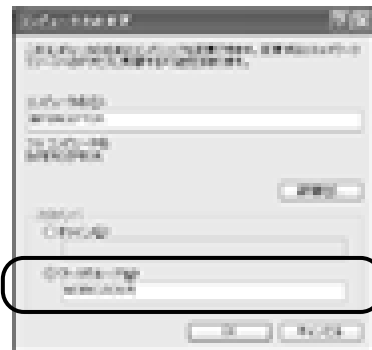


- 7: 続いてワークグループの確認を行います。  
【コントロールパネル】 【システム】を開き、【コンピュータ名】のタブをクリックします。



ここで『ワークグループ名』が既定では『home』になっていますので、『変更(C)』をクリックします。

- 8: 下段の「ワークグループ」を『WORKGROUP』に変更します。



homeのワークグループを使用している場合は、NAS-PC設定画面の「Windows用の設定」でNAS-PC側のワークグループ名を変更することが可能です。

### Step3 : NAS-PCとクライアントPCを接続し、データの初期化と使用準備を行う。

初期設定時は、一旦NAS-PCの電源を切る必要があるため、NAS-PCにディスプレイを接続して設定することをお勧めします。

既存のネットワークに接続する場合はP.31~をご覧ください。

- 1: クライアントPCとNAS-PCをLANケーブル(ストレート)を使って接続します。この時、必ずNAS-PCとクライアントPCは1対1で接続してください。



- 2: NAS-PCの電源を入れて、NAS-PCが起動した後、クライアントPCの電源を入れます。  
次の様な表示がNAS-PCに繋いだディスプレイに表示されるとNAS-PCの起動が完了です。

-----  
Century NASKIT Copyright (C) 2002 Century Corporation

```

Loading Linux.....
Lording root.lrp.....
Ready.
Uncompressing Linux... OK, booting the kernel
Initializing ...
Century NASKIT Ver ** 2002 / 07 / ** / **: **
OK.
-----

```

- 3: クライアントPCのWindowsが起動したら、インターネットエクスプローラを起動し、上のURL部分に『http://192.168.0.1:888』を入力して「Enter」を押します。





9 : NASKIT設定画面が表示されます。

#### 各機能の説明

##### ネットワーク設定

NAS-PCのネットワーク (IP アドレスやホスト名等) の設定を行います。

##### ネットワーク設定2

DHCPサーバ機能の ON / OFF やNTPサーバ機能の設定を行います。

##### Windows用の設定

Windowsでのファイル共有設定やプリントサーバ機能の設定を行います。

##### Macintosh用の設定

Macintoshでのファイル共有設定を行います。

##### ユーザ・グループ設定

ユーザ、グループの登録や削除、編集を行います。

##### NAS-PCの管理

NAS-PCの管理を行います。

##### NAS-PCのシャットダウン

NAS-PCをシャットダウンします。

##### 株式会社センチュリー

弊社Webサイトのリンクです。

##### NASKITサポートへのメール

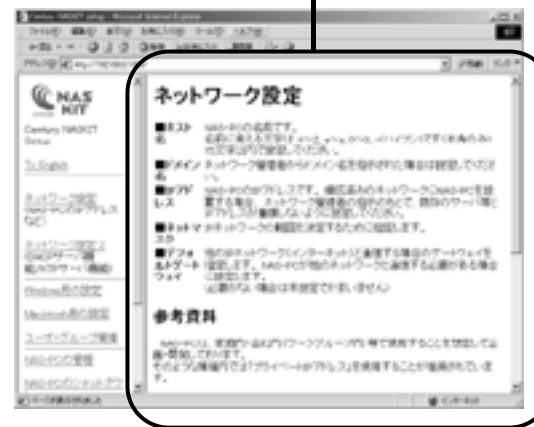
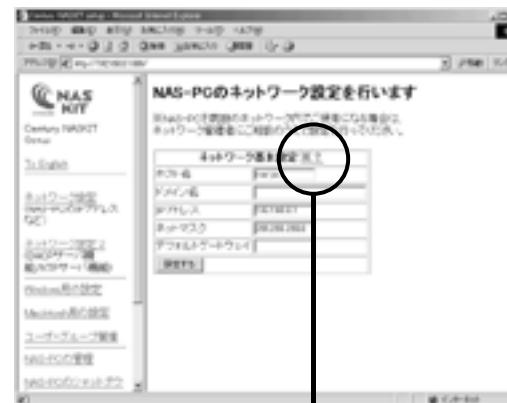
NASKITサポートへのメールを送ります。  
クライアント PC のメール送信設定が正しく設定されている必要があります。



#### オンラインヘルプ

各機能タイトル右脇の【 ? 】マークを開くとオンラインヘルプが表示されます。

詳しくはオンラインヘルプをご参照ください。



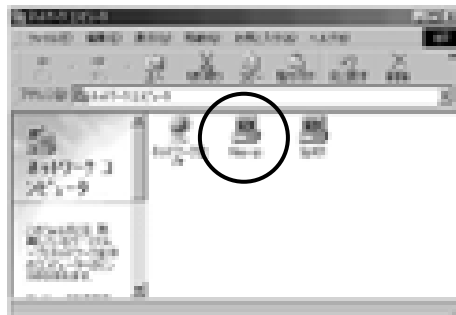
オンラインヘルプ画面

## Step4 : ネットワークドライブをマウントする。

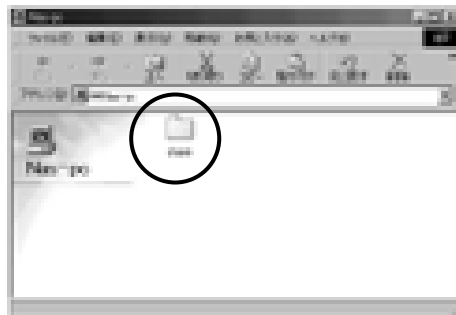
NAS-PC内のディスクをクライアントPCから使用するためには、ネットワークドライブを認識、マウントする必要があります。

### Windows98 / Windows98SE / WindowsMeの場合

- 1 : デスクトップの【ネットワークコンピュータ】を開きます。



- 2 : 既定ではNAS-PCは「nas-pc」として認識されます。  
「nas-pc」を開くと、「share」フォルダが表示されます。



グループ、ユーザーが無い状態では、「share」フォルダのみが表示されます。

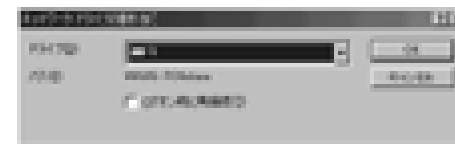
- 3 : 「share」フォルダを右クリックしてメニューを開き、【ネットワークドライブの割り当て】を選択します。



- 4 : 割り当てるドライブを確認します。

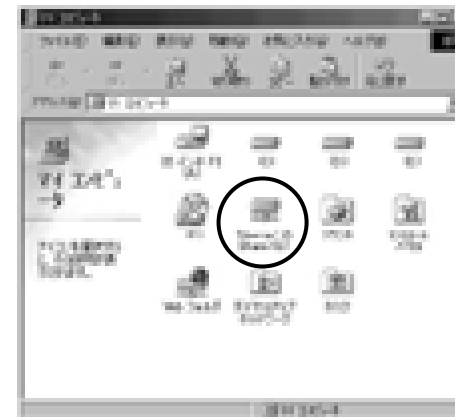
【ログオン時に再接続】チェックボックスをチェックしておく、クライアントPCの電源を切った後に再起動しても、ネットワークドライブのマウントが自動的に行われます。

設定を確認し、良ければ「OK」をクリックします。



- 5 : マイコンピュータの中に割り当てたドライブが表示されます。

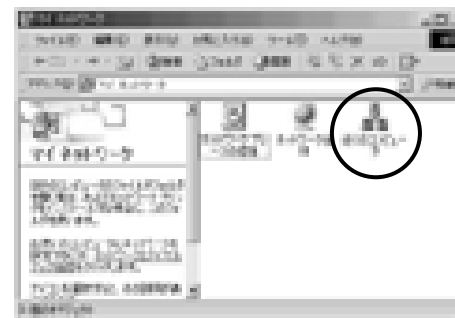
このように設定しておくことで、NAS-PCに繋がっているハードディスクを、あたかも自分のPCに接続してあるように操作することが可能になります。



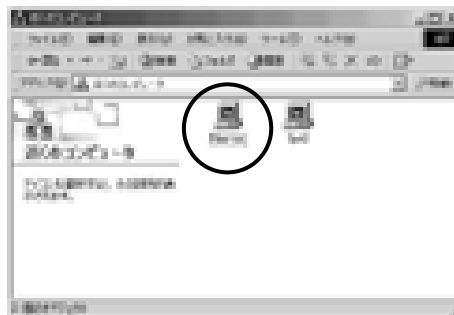
### Windows2000の場合

- 1 : デスクトップの【マイネットワーク】を開きます。

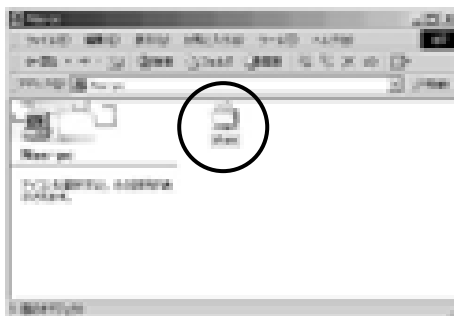
【近くのコンピュータ】を開きます。



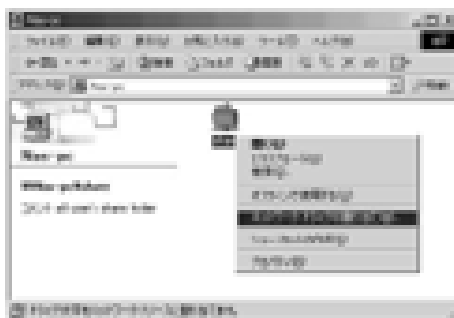
- 2 : 既定でNAS-PCは「nas-pc」として認識されます。  
「nas-pc」を開くと、「share」フォルダが表示されます。



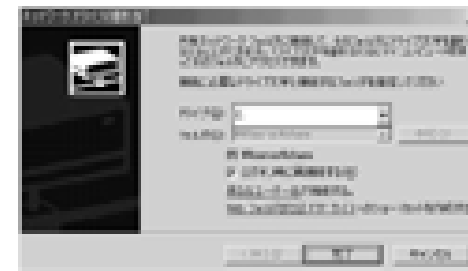
- 3 : グループ、ユーザーが無い状態では、「share」フォルダのみが表示されます。



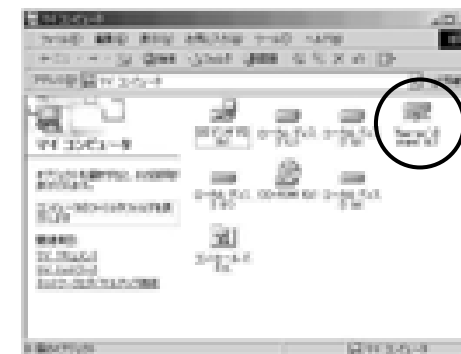
- 4 : 「share」フォルダを右クリックしてメニューを開き、【ネットワークドライブの割り当て】を選択します。



- 5 : 割り当てるドライブを確認します。  
【ログオン時に再接続する】チェックボックスをチェックしておくこと、クライアントPCの電源を切った後に再起動しても、ネットワークドライブのマウントが自動的に行われます。  
設定を確認し、良ければ「OK」をクリックします。



- 6 : マイコンピュータの中に割り当てたドライブが表示されます。  
このように設定しておくことで、NAS-PCに繋がっているハードディスクを、あたかも自分のPCに接続してあるように操作することが可能になります。



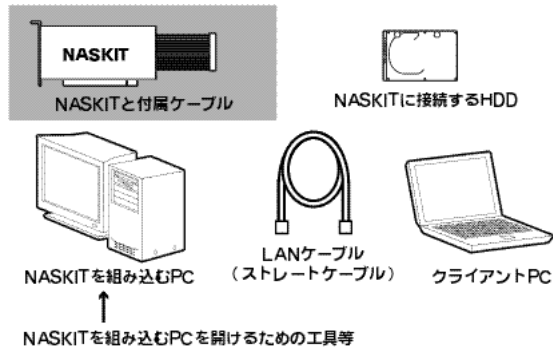
## WindowsXPの場合

【マイネットワーク】を開くと、NAS-PCのshareフォルダが認識されています。  
この中にファイルをコピーすることで、NAS-PC側のディスクへ書き込むことが可能です。

## 【Macintoshセットアップガイド】

### 準備するもの

- NASKITを組み込むPC
- NASKITに接続するHDD
- クライアントPC
- LANケーブル（ストレート）
- NASKITを組み込むPCを開けるための工具等

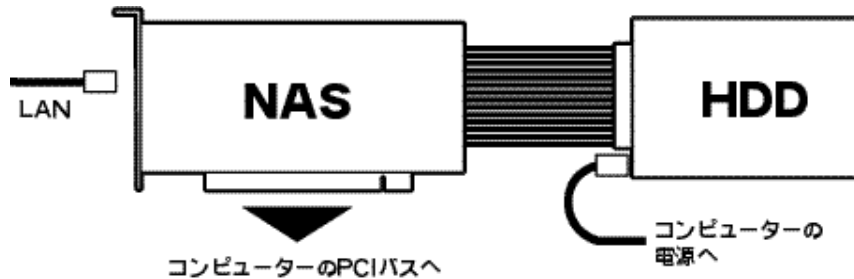


### セットアップまでの流れ

- STEP1：NASKITカードをコンピュータに接続する
- STEP2：クライアントPCの設定を確認する
- STEP3：NAS-PCとクライアントPCを接続し、データの初期化と使用準備を行う
- STEP4：ネットワークドライブをマウントする

## Step1：NASKITカードをコンピュータに接続する

PCのPCIバスにNASKITカードを取り付け、NASKITカードとNASKITに使用するHDDを添付のIDEフラットケーブルで接続します。HDDにPCからの電源コネクタを接続します。



PCIバスへの取り付けに関してはPCの取扱い説明書をご参照ください。  
NASKITカードを取り付けたPCをNAS-PCと呼称します。  
マザーボード側のIDEコネクタには何も接続しないようにお願いします。  
マザーボード側のIDEコネクタは使用しません。

## Step2：クライアントPCの設定を確認する

NAS-PCを利用するためには使うための設定を正しく行う必要があります。

一番最初の起動時には、NAS-PCとクライアントPCを1対1で接続し、設定を行います。  
設定のためにクライアントPCの設定を確認します。

【注意】クライアント設定の確認時には、ネットワークケーブルを外した状態で行ってください。

### Macintosh OS9.1の場合

- 1: Appleメニューから【コントロールパネル】  
【TCP/IP】を開きます

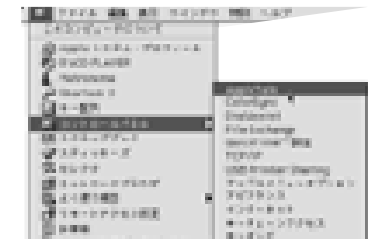


- 2: TCP/IPの設定が表示されます。

【経由先】を【内蔵 EtherNet】、【設定方法】を【DHCPサーバを参照】に設定されているかを確認下さい。ここで、【設定方法】が【手入力】になり、「IPアドレス」や「サブネットマスク」に数字が設定されている場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。



- 3: 次にAppleメニューから【コントロールパネル】  
【AppleTalk】を開きます



- 4: 経由先を【EtherNet】に設定して閉じます。

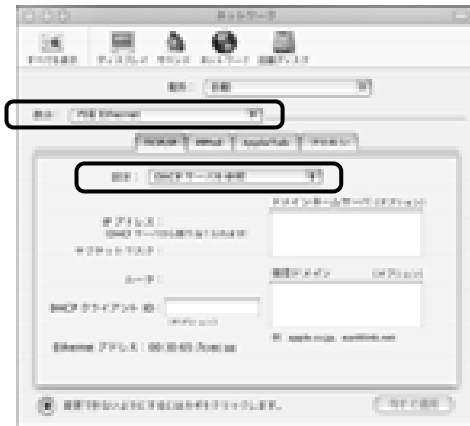


## MacOS X (10.1) の場合

- 1: Appleメニューから【システム環境設定】を開きます



- 2: 【ネットワーク】を開き、【表示】を『内蔵 Ethernet』に選択し、TCP/IPタブの【設定】が『DHCPサーバを参照』になっているかをご確認ください。



【設定】が【手入力】になり、「IPアドレス」や「サブネットマスク」に数字が設定されている場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

- 3: AppleTalkタブの【AppleTalk使用】にもチェックを入れておきます。



## Step3 : NAS-PCとクライアントPCを接続し、データの初期化と使用準備を行う。

初期設定時は、一旦 NAS-PC の電源を切る必要があるため、NAS-PC にディスプレイを接続して設定することをお勧めします。

既存のネットワークに接続する場合はP.31~をご覧ください。

- 1: クライアントPCとNAS-PCをLANケーブル(ストレート)を使って接続します。この時、必ずNAS-PCとクライアントPCは1対1で接続してください。



- 2: NAS-PCの電源を入れて、NAS-PCが起動した後、クライアントPCの電源を入れます。次の様な表示がNAS-PCに繋いだディスプレイに表示されるとNAS-PCの起動が完了です。

-----  
Century NASKIT Copyright (C) 2002 Century Corporation

```
Loading Linux.....  
Lording root.lrp.....  
Ready.  
Uncompressing Linux... OK, booting the kernel  
Initializing ...  
Century NASKIT Ver ** 2002 / 07 / ** / **: **  
OK.  
-----
```

- 3: クライアントPCのWindowsが起動したら、インターネットエクスプローラを起動し、上のURL部分に『http://192.168.0.1:888』を入力して「Enter」を押します。

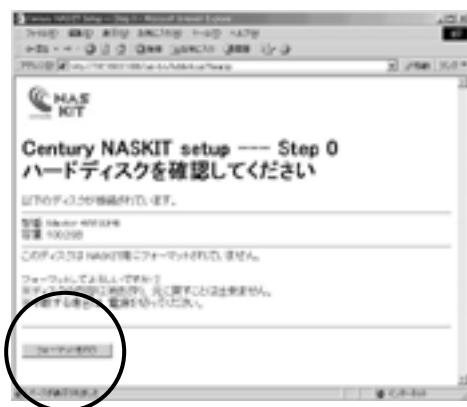


4 : NASKIT Setupが表示されます。

『次へ』をクリックします。



5 : ハードディスク確認画面が表示され、接続したハードディスクの型番と容量が表示されます。フォーマットしても良ければ『フォーマットを行う』をクリックします。



6 : ディスクのフォーマット画面が表示されます。

自動的に全ての領域確保とフォーマットが行われます。終了すると、一番下に【シャットダウンを行う】ボタンが表示されます。シャットダウンを行いますので、これをクリックします。



7 : シャットダウン画面が表示されます。

自動的にNAS-PCの電源が切れます。



自動的に電源が切れない PC ( AT 電源搭載 PC 等 ) の場合、NAS-PC に接続したディスプレイに下の様なメッセージが表示されましたらシャットダウンが完了です。

-----  
Century NASKIT Copyright ( C ) 2002 Century Corporation

Loading Linux.....  
Lording root.lrp.....  
Ready.  
Uncompressing Linux... OK, booting the kernel  
Initializing ...  
Century NASKIT Ver \*\* 2002 / 07 / \*\* / \*\*: \*\*  
OK.

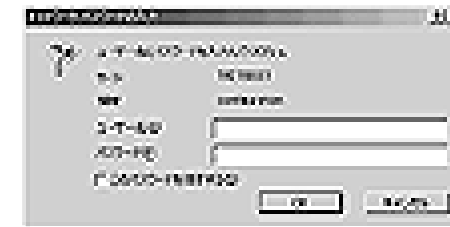
Start NAS-PC Shut down process.....  
NAS-PC Shut down process has been completed.  
Please power off.

-----  
【NAS-PC Shut down process has been completed.】を確認して電源を切ってください。

8 : NAS-PCの電源を入れます。

NAS-PCの電源を再投入し、起動するまでしばらく待ち、設定画面の「こちら」をクリックすると、【ネットワークパスワードの入力】画面が表示されます。

ユーザー名 : config  
パスワード : configを入力します。



9 : NASKIT設定画面が表示されます。

#### 各機能の説明

##### ネットワーク設定

NAS-PCのネットワーク (IP アドレスやホスト名等) の設定を行います。

##### ネットワーク設定2

DHCPサーバ機能の ON / OFF やNTPサーバ機能の設定を行います。

##### Windows用の設定

Windowsでのファイル共有設定やプリントサーバ機能の設定を行います。

##### Macintosh用の設定

Macintoshでのファイル共有設定を行います。

##### ユーザ・グループ設定

ユーザ、グループの登録や削除、編集を行います。

##### NAS-PCの管理

NAS-PCの管理を行います。

##### NAS-PCのシャットダウン

NAS-PCをシャットダウンします。

##### 株式会社センチュリー

弊社Webサイトのリンクです。

##### NASKITサポートへのメール

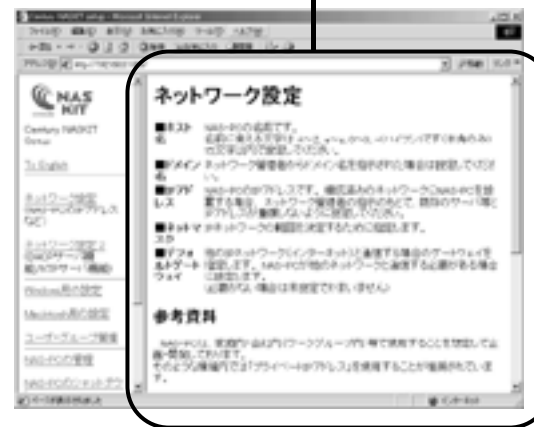
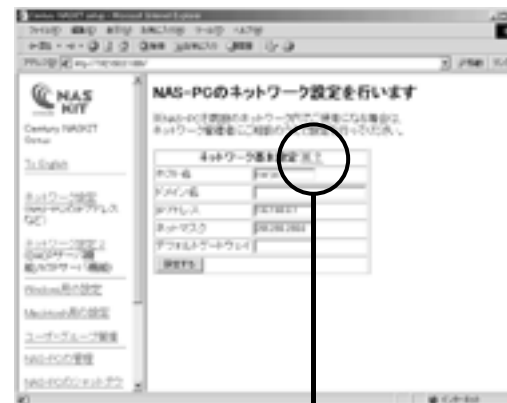
NASKITサポートへのメールを送ります。  
クライアント PC のメール送信設定が正しく設定されている必要があります。



#### オンラインヘルプ

各機能タイトル右脇の【 ? 】マークを開くとオンラインヘルプが表示されます。

詳しくはオンラインヘルプをご参照ください。



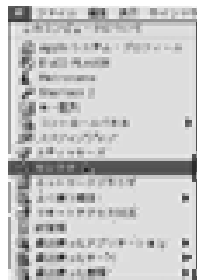
オンラインヘルプ画面

## Step4 : ネットワークドライブをマウントする。

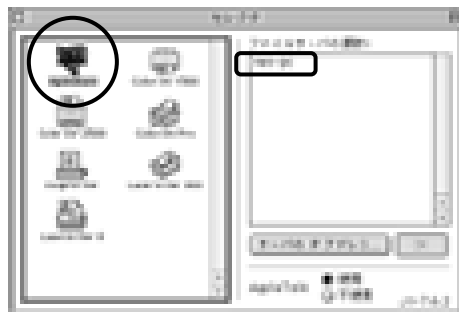
NAS-PC内のディスクをクライアントPCから使用するためには、ネットワークドライブを認識、マウントする必要があります。

### Macintosh (OS9) の場合

1 : Appleメニューから【セレクト】を選択します。



2 : AppleShare をクリックすると、右側の「ファイルサーバの選択」欄にnas-pcが認識されます。



3 : 「OK」をクリックすると、ファイルサーバへのログイン画面が表示されます。

「ゲスト」にチェックして「接続」をクリックします。



ユーザ登録してある場合は、「登録利用者」をチェックしてユーザ名、パスワードを入力します。  
ユーザ登録に関しては設定画面の【ユーザ・グループ設定】をご参照ください。

4 : 使用可能な項目が表示されます。

「share」を選択します。

右側のチェックを入れておくと、クライアントPCの電源を切った後に再起動しても、ネットワークドライブのマウントが自動的に行われます。

設定を確認し、良ければ「OK」をクリックします。



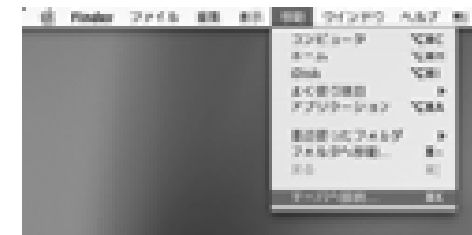
5 : デスクトップにshareボリュームがマウントされます。

このように設定しておくことで、NAS-PCに繋がっているハードディスクを、あたかも自分のPCに接続してあるように操作することが可能になります。



### MacOS X (10.1)

1 : メニューバーから【移動】 【サーバへ接続】を選択します。



2 : 【サーバへ接続】ウィンドウが表示されます。  
nas-pc (既定) を選択し、【接続】をクリックします。





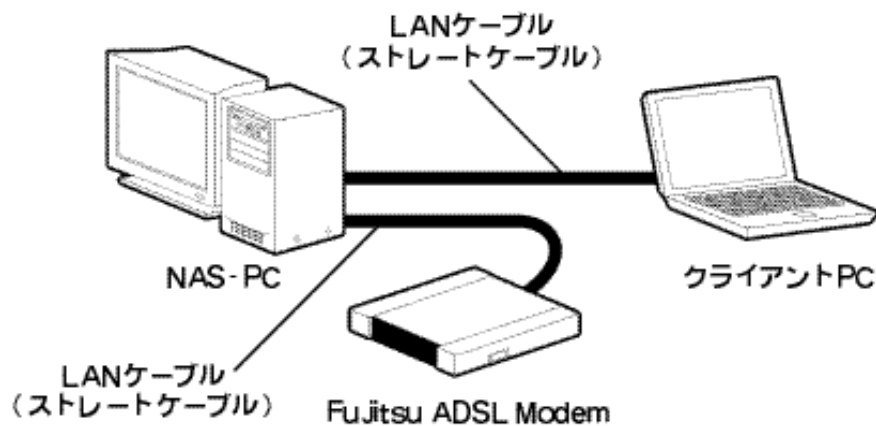
## 既存のネットワークに繋げるには？

既存のネットワークに接続するためには、NAS-PCの設定をネットワーク設定に合わせて設定しなければなりません。

通常、ネットワーク管理者が設定を行いますが、ADSLサービス業者から提供されるADSLモデムで、自動的に設定されている場合があります。

一例としてACCAネットワークスでインターネットに接続されている環境の場合の設定例を挙げます。

- ・アッカネットワークスFujitsu ADSL Modem（ルータタイプ）との組み合わせ

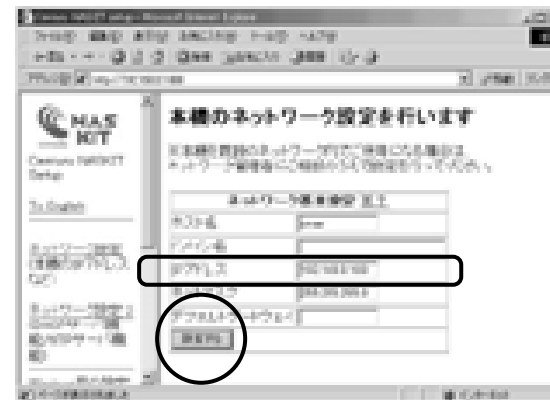


アッカネットワークスのFujitsu ADSL Modemの場合、ADSL Modem自体のIPアドレスが192.168.0.1、ネットマスクが255.255.255.0、自動割り当て用に予約されているアドレスが192.168.0.2～192.168.0.32までになっています。

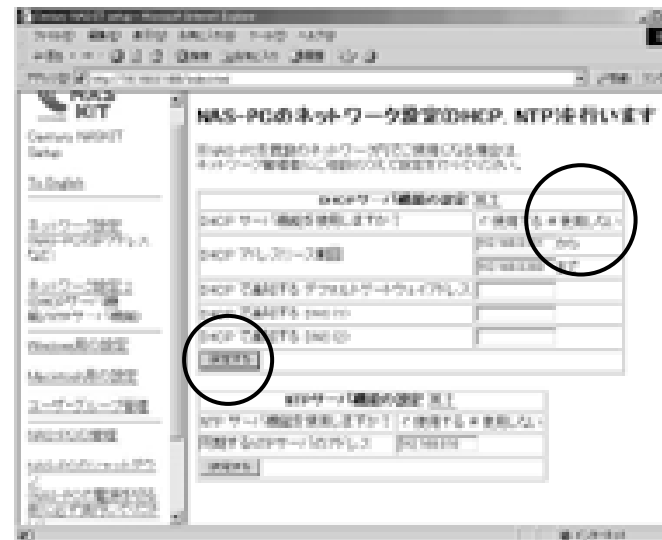
そのため、NAS-PCには192.168.0.33～192.168.0.254までの値が使用可能です。

【ネットワーク設定】のIPアドレスをその値に変更します。

ここでは192.168.0.100に設定しています。IPアドレスを入力した後、【設定する】をクリックします。



Fujitsu ADSL ModemがDHCPサーバの機能を持っていますので、NAS-PCのDHCPサーバ機能を無効にします。



使用しないをチェックして、【設定する】をクリックします。

設定はNAS-PCをシャットダウンし再起動後に有効になります。



## 付録1 NAS-PCの初期設定

ネットワーク設定  
ホスト名: nas-pc  
ドメイン名: 未設定  
IPアドレス: 192.168.0.1  
ネットマスク: 255.255.255.0  
デフォルトゲートウェイ: 未設定

ネットワーク設定2  
DHCPサーバ: 有効  
トラブル回避のため、初期設定時にDHCPサーバの存在するネットワークにした場合、自動的にOFFになります。  
DHCPアドレスリース範囲: 192.168.0.101-192.168.0.200  
DHCPで通知するデフォルトゲートウェイアドレス: 未設定  
DHCPで通知するDNS(1): 未設定  
DHCPで通知するDNS(2): 未設定  
NTPサーバ機能: 無効  
同期するNTPサーバアドレス: 192.168.0.10

Windows用の設定  
ファイル / プリント供給機能: 有効  
サーバ名: nas-pc (ネットワーク設定のホスト名と同じになります)  
サーバの説明: Network Storage  
ワークグループ名: WORKGROUP  
ゲストアクセス: 許可  
プリントサーバ機能: 無効

Macintosh用の設定  
ファイル共有機能: 有効  
サーバ名: nas-pc (ネットワーク設定のホスト名と同じになります)  
ゲストアクセス: 許可  
最大クライアント数: 20

## 付録2 動作確認リスト

:設定を変更せずに使える物  
:必ずキーボードとモニターが必要になる物  
x:動作できなかった物

不具合1  
起動時にメモリアクセスエラー。

### IBM

PC / V PL300XL (PeuntiumII 266 128M)  
PC / V 350 (Pentium 200 32M)  
x IBM PCV-R 720 不具合1

不具合2  
LANに自動で割り振られた IRQが正常に使用できない。クライアントPCから全く繋がらない。  
手動設定でIRQを割り振ると起動時に必ずエラーが起きる。 シリアルマウスやマウスのIRQを空けて割り振らせても症状は改善されない。

### COMPAQ

PROSTGLOVIA SV-033 (Pentium166 96M)  
DESKPRO 5120 (iPP PHILIPPINES 32M)

参考: 富士通製PC固有BIOSバージョンと動作の比較

FMV-5200D9M BIOS V3.1  
FMV DeskPowerDC 16 SII BIOS V3.1  
FMV model S II 166A BIOS V2.1  
x FMV-5133D5 (Pentium 133) BIOS V2.0  
x FMV-5100D5 (Pentium 100) BIOS V2.0

### FUJITSU

FMV-5200D9M (Pentium MMX 200 64M)  
FMV DC 16 SII (Pentium 166 128M)  
FMV model S II 166A (Pentium 166 64M)  
x FMV-5133D5 (Pentium 133 32M) 不具合2  
x FMV-5100D5 (Pentium 100 32M) 不具合2

BIOS V2.0 BIOS V2.1は起動直後に画面の左上の表示で確認できます。

### ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等に付きましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。  
This product version is for internal Japanese distribution only.  
It comes with drivers and manuals in Japanese.  
This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.

【販売・サポート】

株式会社センチュリー

サポートセンター e-mail: nas-support@century.co.jp